

## ■ 植物群落調査について

### ② 植物群落調査

植物群落調査地点の概要は表4-11-10に示すとおりである。

対象事業実施区域内における代表的な植物群落として、畑地雑草群落(St. 12)が挙げられ、耕作地に特徴的なイネ科植物であるメヒシバが優占する。

対象事業実施区域外では、千曲川沿いの堤外部において、アレチウリ群落(St. 5及びSt. 6)、セイタカアワダチソウ群落(St. 9)、ヤブガラシ群落(St. 14)及びフシゲチガヤ群落(St. 11)を含む草地雑草群落が広く分布する。また、小規模であるが、千曲川を特徴づける植物群落であるオギ群落(St. 2、St. 8及びSt. 13)や帰化植物であるオオブタクサが優占するオオブタクサ群落(St. 1及びSt. 15)も分布する。これら群落内には、帰化植物が侵入している場所が多いが、千曲川を特徴づけるホソバイラクサも生育している。千曲川の中洲や増水の影響を受けやすい水際では、クサヨシ群落(St. 4)やヤナギタデ群落(St. 16)が成立し、河川増水の影響が少ない場所には、ヤナギ高木林(St. 7)、ヤナギ低木林(St. 10)などの樹林地が見られる。

そのほか、軻良根古(カラネコ)神社では、ケヤキの優占する社寺林(St. 3)が分布している。

なお、各群落の調査票と断面の状況、および状況写真は資料編(P I 資6-2～P I 資6-17)に示した。

表 4-11-10 植物群落調査地点の概要 (夏季調査時)

地点番号	群落名	群落高(m)	調査面積 (㎡)	
St. 1	オオブタクサ群落	3.30	5×5	25
St. 2	オギ群落	2.20	5×5	25
St. 3	ケヤキ林 (社寺林)	20.00	10×20	200
St. 4	クサヨシ群落	2.70	5×5	25
St. 5	アレチウリ群落	0.40	5×5	25
St. 6	アレチウリ群落	0.60	5×5	25
St. 7	ヤナギ高木林	15.00	10×20	200
St. 8	オギ群落	2.00	3×5	15
St. 9	セイタカアワダチソウ群落	1.00	5×5	25
St. 10	ヤナギ低木林	3.50	5×5	25
St. 11	フシゲチガヤ群落	0.70	3×3	9
St. 12	畑地雑草群落	0.30	1×1	1
St. 13	オギ群落	2.00	5×5	25
St. 14	ヤブガラシ群落	1.00	5×5	25
St. 15	オオブタクサ群落	3.50	4×5	20
St. 16	ヤナギタデ群落	1.00	4×4	16